

岡山県感染症週報 2014 年 第 48 週 (11 月 24 日～ 11 月 30 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

◆2014 年 第 48 週 (11/24～ 11/30) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 46 週	5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1 名 (40 代 男)
		梅毒	1 名 (20 代 男)
第 47 週	4 類感染症	レジオネラ症	1 名 (50 代 男)
第 48 週	2 類感染症	結核	2 名 (60 代 男 1 名、80 代 男 1 名)
	5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 名 (70 代 男)
		梅毒	1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- 感染性胃腸炎は、県全体で 595 名 (定点あたり 9.70 → 11.02 人) の報告があり、前週より増加しました。
- インフルエンザは、県全体で 37 名 (定点あたり 0.24 → 0.44 人) の報告があり、前週より増加しました。
- RS ウイルス感染症は、県全体で 84 名 (定点あたり 1.54 → 1.56 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 72 名 (定点あたり 1.17 → 1.33 人) の報告があり、前週より増加しました。

【第 49 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 4 施設でありました。(12 月 1～4 日)

1. **感染性胃腸炎**は、県全体で 595 名 (定点あたり 9.70 → 11.02 人) の報告があり、前週より増加しました。地域別では、備北地域 (22.75 人)、倉敷市 (13.55 人)、美作地域 (12.33 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、県下全域での流行となっています。また、備北地域で定点あたり報告数 20 人を上まわり、発生レベル 3 になりました。冬の感染性胃腸炎の原因はウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。『[食中毒 \(ノロウイルス\) 注意報を発令中です](#)』岡山県ホームページ (生活衛生課)
2. **インフルエンザ**は、県全体で 37 名 (定点あたり 0.24 → 0.44 人) の報告があり、前週より増加しました。県内の発生状況など詳しくは、「[インフルエンザ週報](#)」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
3. **RS ウイルス感染症**は、県全体で 84 名 (定点あたり 1.54 → 1.56 人) の報告があり、前週とほぼ同数でしたが、過去 10 年間の同時期と比較して、最も多い状態で推移しています。地域別では、美作地域 (2.17 人)、岡山市 (2.14 人)、倉敷市 (2.09 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で発生報告がありました。第 47 週 (11/17～11/23) 全国集計によると、定点あたり 1.64 人の報告があり、2 週連続で増加しました。過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。都道府県別では、徳島県 (4.26 人)、鳥取県 (4.21 人)、山形県 (4.00 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、香川県 (3.59 人)、島根県 (3.13 人) などの近隣県でも多くの患者が報告されています。この感染症は、例年秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。今後の発生状況に注意するとともに、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めて下さい。お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診してください。
4. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で 72 名 (定点あたり 1.17 → 1.33 人) の報告があり、2 週連続の増加となりました。過去 10 年間の同時期と比較して、定点あたり報告数が多い状態で推移しています。地域別では、倉敷市 (2.64 人)、岡山市 (1.64 人)、美作地域 (1.33 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、備中地域、真庭地域、備北地域でも発生が報告されています。この感染症は、突然の発熱と体のだるさ・のどの痛みで発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口腔内に小点状出血あるいは莓舌 (イチゴのように赤くブツブツしている舌) がみられることがあります。就学前から学童期の小児に多い感染症で、学校などで集団感染することもあります。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★★★★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★★★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					

【記号の説明】 ・前週からの推移： :2倍以上の減少 :1.1~2倍未満の減少 :1.1未満の増減
 :1.1~2倍未満の増加 :2倍以上の増加

・発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成25年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

【医療機関ならびに行政関係の方へのお知らせ】

感染症法の一部が改正になりました。（平成26年11月21日公布）

〈主な改正概要〉

◆平成27年1月21日施行

*二類感染症（全数把握）の鳥インフルエンザ（H5N1）を**特定鳥インフルエンザ**とし、病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスで、その血清型が、**新型インフルエンザ等感染症の病原体に変異するおそれが高いものの血清亜型として政令で定めるもの**とする。

* 指定感染症の**中東呼吸器症候群（MERS）**を、**二類感染症（全数把握）**に追加する。

◆平成28年4月1日施行

* 一類感染症、二類感染症、**新型インフルエンザ等感染症**および**新感染症**の患者等からの検体の採取等の制度の創設。

その他の改正など、詳しくはこちらをご覧ください。

- ・ [感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律について](#)
- ・ [感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律の一部の施行について](#)
- ・ [感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第13条第1項の規定に基づく届出の基準について](#)

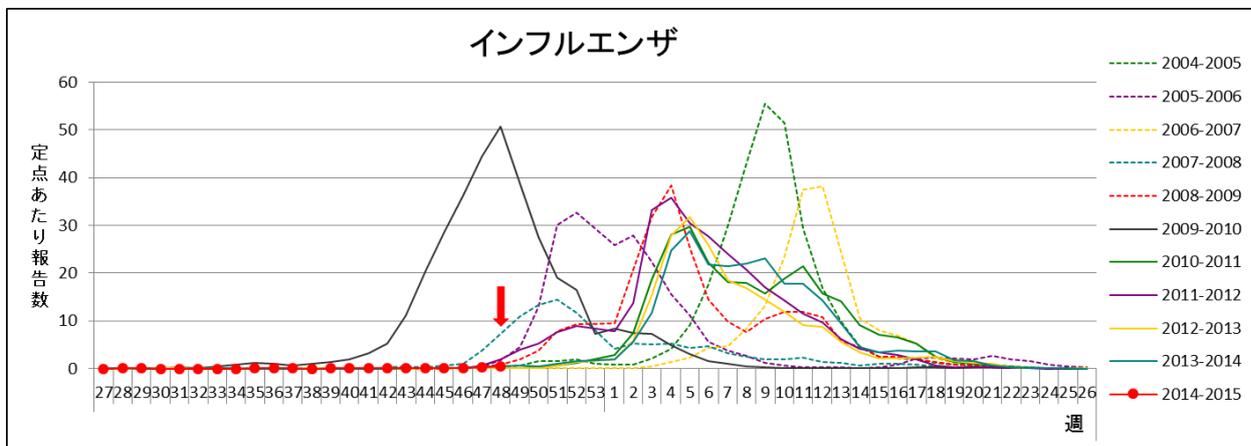
インフルエンザ週報 2014 年 第 48 週 (11 月 24 日 ~ 11 月 30 日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 37 名の発生がありました (84 定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業、入院患者の報告はありませんでした。

【第 49 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 4 施設でありました。

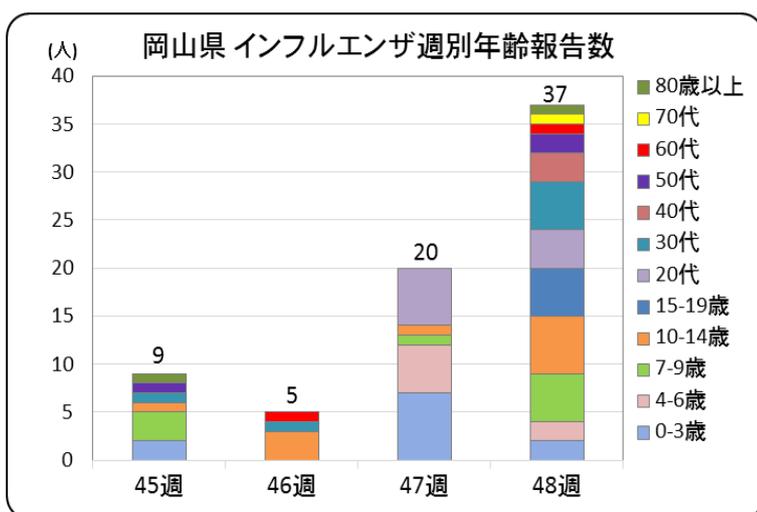
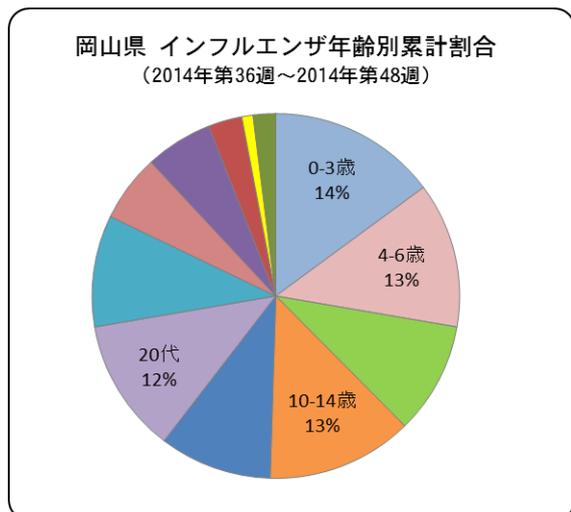


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で 14 名、備中地域で 9 名、岡山市および備前地域でそれぞれ 7 名の報告があり、県全体では 37 名 (定点あたり 0.24 → 0.44 人) の発生となりました (84 定点医療機関報告)。定点あたり報告数は、2 週連続で増加しており、県南部を中心に流行しています。12 月に入り、インフルエンザは流行シーズンを迎えています。第 49 週、岡山市・倉敷市の小中学校で臨時休業も報告されていますので、手洗い・うがいを励行し、感染予防を心がけましょう。

第 47 週 (11/17~11/23) 全国集計によると、全国の定点あたり報告数は 0.94 人となり、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり 1 人」に近づきました。都道府県別では、岩手県 (6.20 人)、福島県 (2.76 人)、神奈川県 (1.96 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。特に首都圏の神奈川県、東京都 (1.92 人)、埼玉県 (1.83 人)、千葉県 (1.63 人) での増加が目立ち、東日本を中心に流行しています。

1. 年齢別発生状況



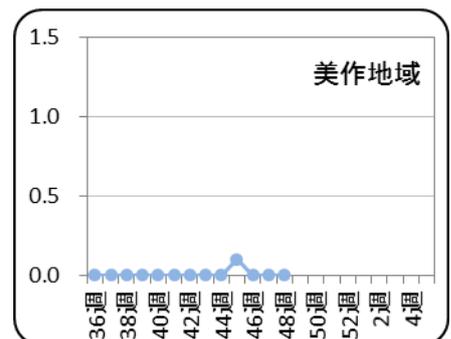
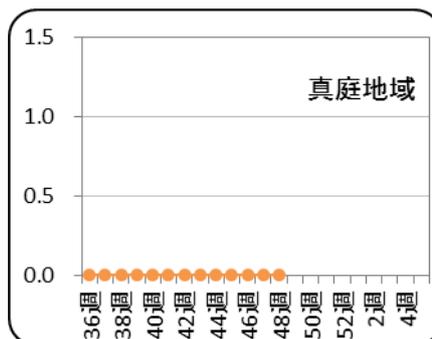
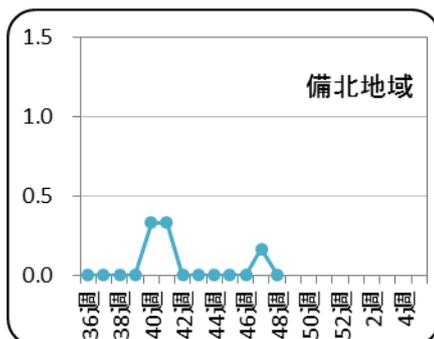
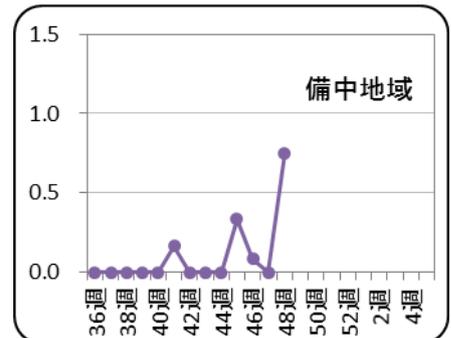
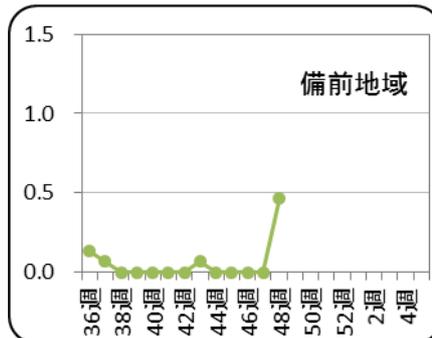
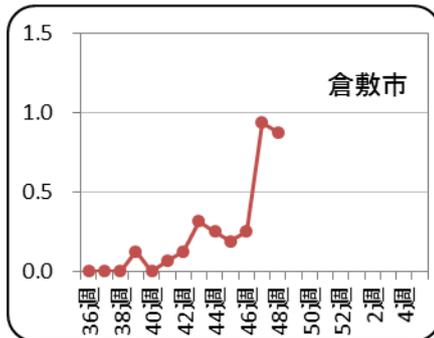
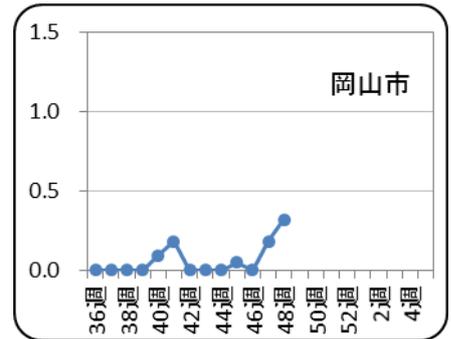
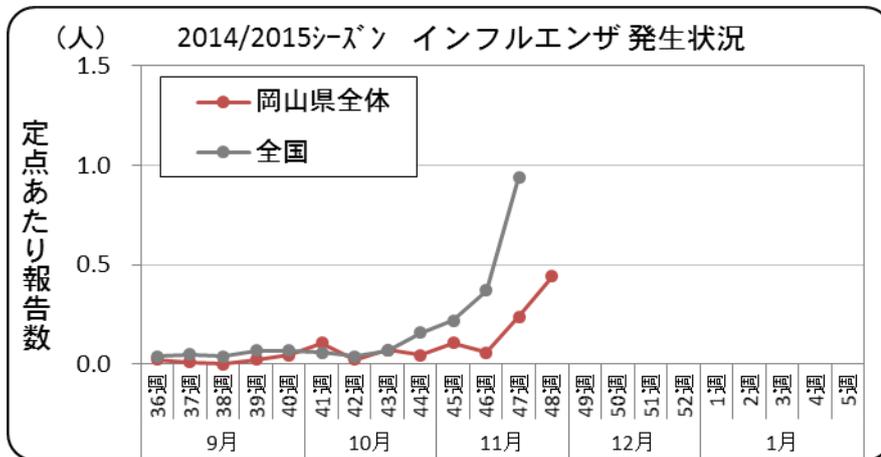
今シーズン (2014 年 9 月 1 日 ~) の年齢別累計割合は、0-3 歳 14%、4-6 歳および 10-14 歳 13%、20 代 12% の順で定点あたり報告数が多くなりました。幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

2. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	37	↑	備 中	患者数	9	↑
	定点あたり	0.44			定点あたり	0.75	
岡山市	患者数	7	↑	備 北	患者数	0	↓
	定点あたり	0.32			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	14	→	真 庭	患者数	—	→
	定点あたり	0.88			定点あたり	—	
備 前	患者数	7	↑	美 作	患者数	0	→
	定点あたり	0.47			定点あたり	0.00	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



2. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	-	11	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	H26. 10. 21
岡山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉敷市	-	11	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	H26. 10. 21
備前地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備中地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備北地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真庭地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美作地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第48週：0施設 累計：1施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	-	-	-	-	0	1	-	-	-	-	-	-

《インフルエンザの予防接種はお早めに！》

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる12月中旬までに、**予防接種を済ませることをお勧めします。**
予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

保健所別報告患者数 2014年 48週 (2014/11/24～2014/11/30)

2014年12月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	37	0.44	7	0.32	14	0.88	7	0.47	9	0.75	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	84	1.56	30	2.14	23	2.09	1	0.10	12	1.71	4	1.00	1	0.50	13	2.17
咽頭結膜熱	12	0.22	-	-	2	0.18	1	0.10	5	0.71	-	-	1	0.50	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.33	23	1.64	29	2.64	-	-	8	1.14	2	0.50	2	1.00	8	1.33
感染性胃腸炎	595	11.02	164	11.71	149	13.55	77	7.70	35	5.00	91	22.75	5	2.50	74	12.33
水痘	63	1.17	26	1.86	6	0.55	6	0.60	3	0.43	10	2.50	-	-	12	2.00
手足口病	27	0.50	12	0.86	9	0.82	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	24	0.44	10	0.71	6	0.55	2	0.20	4	0.57	1	0.25	-	-	1	0.17
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	8	0.15	2	0.14	-	-	3	0.30	1	0.14	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 48週 (2014/11/24～2014/11/30)

2014年12月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	37	0.44	7	0.32	14	0.88	7	0.47	9	0.75	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	-	-	2	0.18	1	0.10	5	0.71	-	-	1	0.50	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.33	23	1.64	29	2.64	-	-	8	1.14	2	0.50	2	1.00	8	1.33
感染性胃腸炎	595	11.02	164	11.71	149	13.55	77	7.70	35	5.00	91	22.75	5	2.50	74	12.33
水痘	63	1.17	26	1.86	6	0.55	6	0.60	3	0.43	10	2.50	-	-	12	2.00
手足口病	27	0.50	12	0.86	9	0.82	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	8	0.15	2	0.14	-	-	3	0.30	1	0.14	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第48週 2014/11/24~2014/11/30)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	37	-	-	2	-	-	-	1	1	2	1	2	6	5	4	5	3	2	1	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	84	19	16	22	14	10	-	2	-	-	-	1	-	-	
咽頭結膜熱	12	-	2	2	1	3	2	-	1	-	1	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	-	-	1	4	8	6	11	11	5	9	7	8	1	1
感染性胃腸炎	595	11	28	96	56	61	61	52	31	36	24	8	56	10	65
水痘	63	1	2	3	11	11	9	9	3	5	3	3	3	-	-
手足口病	27	-	2	10	6	5	1	2	-	-	-	-	-	1	
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	24	3	11	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	5	1	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	1	1	1	2	1	-	-	1	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

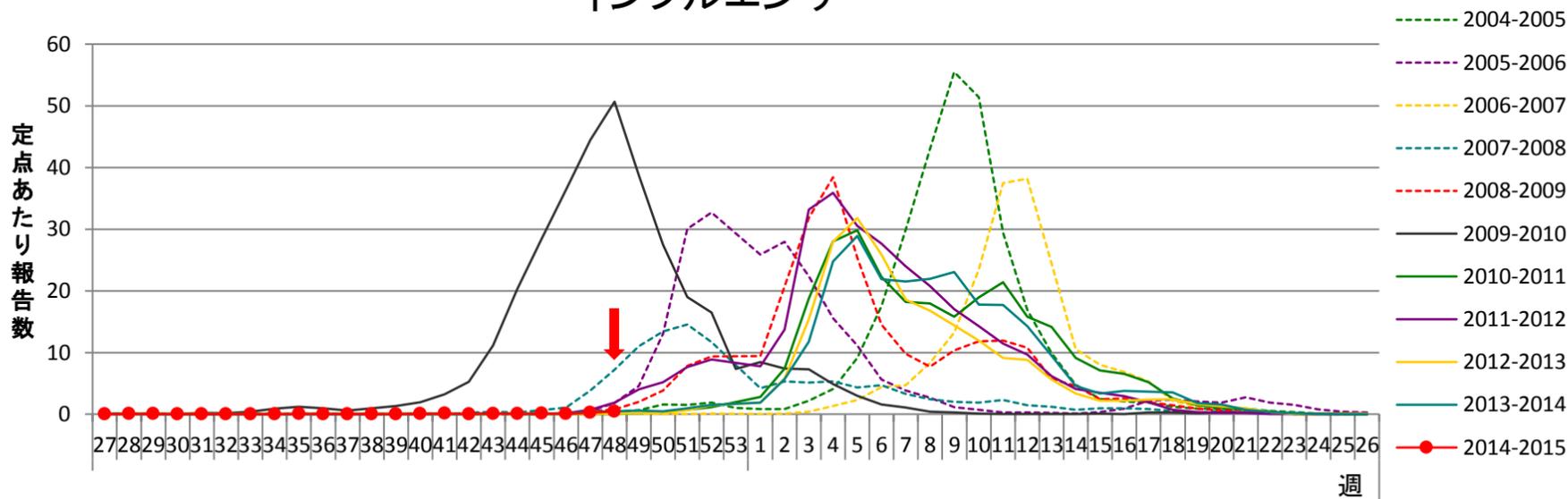
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

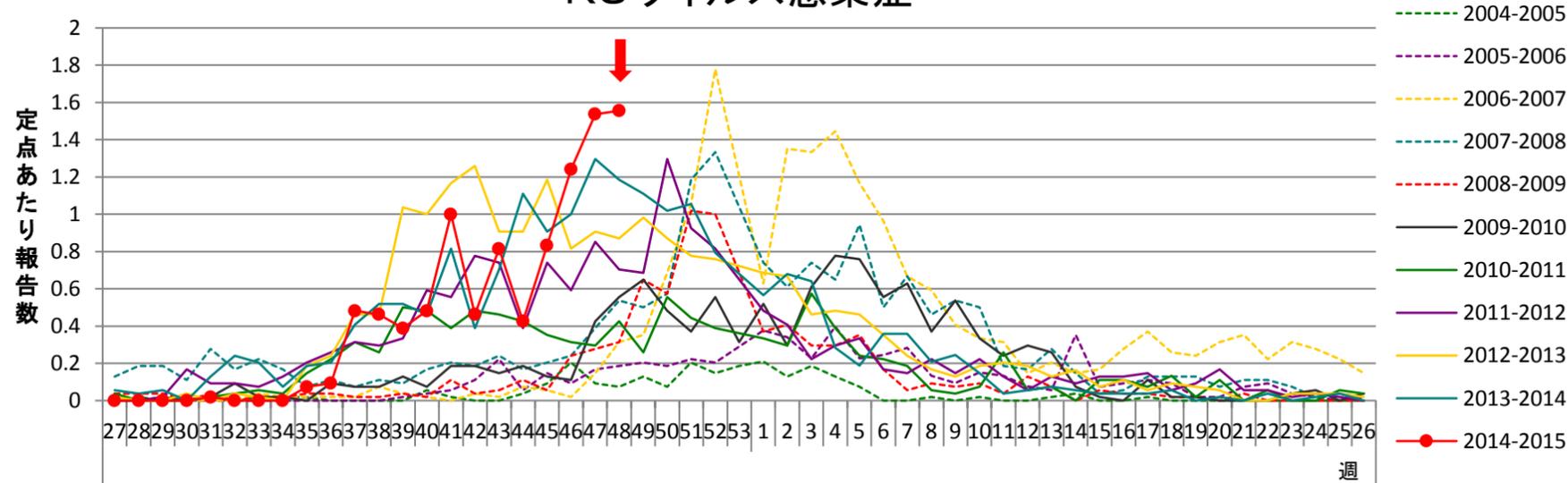
2014年 48週

分類	疾病名	2014			疾病名	2014			疾病名	2014		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	332	358	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	68	87
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	7	5
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	2	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	2	-	デング熱	-	1	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	4	2	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	1	野兎病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	28	24	レプトスピラ症	-	-	2
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	9	20	ウイルス性肝炎*3	-	7	13	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	7	-
	急性脳炎*4	-	9	5	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	3	後天性免疫不全症候群	-	20	18	ジアルジア症	-	-	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	20	20
	水痘(入院例に限る。)	-	3	-	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	1	18	8
	播種性クリプトкокクス症	-	-	-	破傷風	-	1	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	1	風しん	-	2	76	麻しん	-	6	3
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-

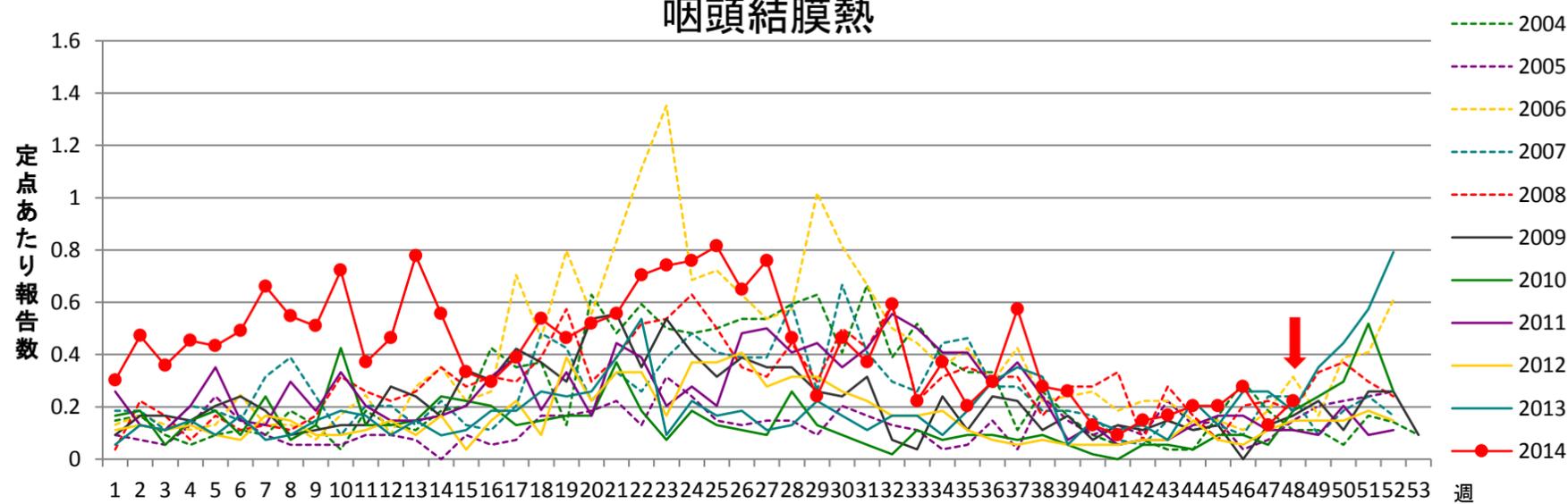
インフルエンザ



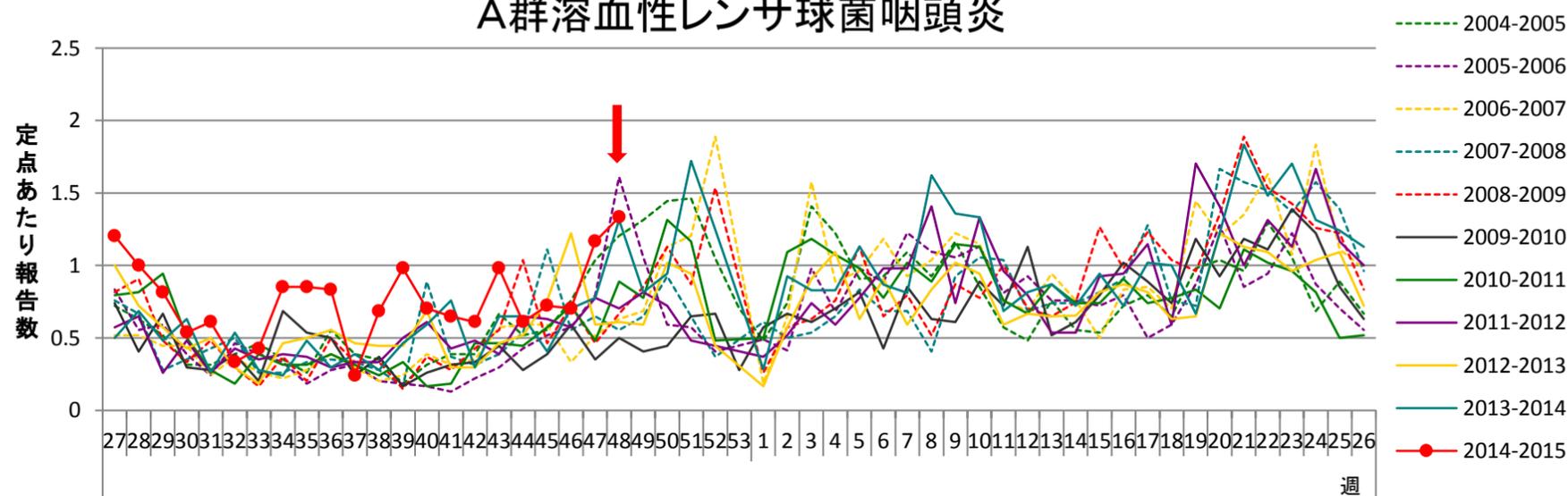
RSウイルス感染症



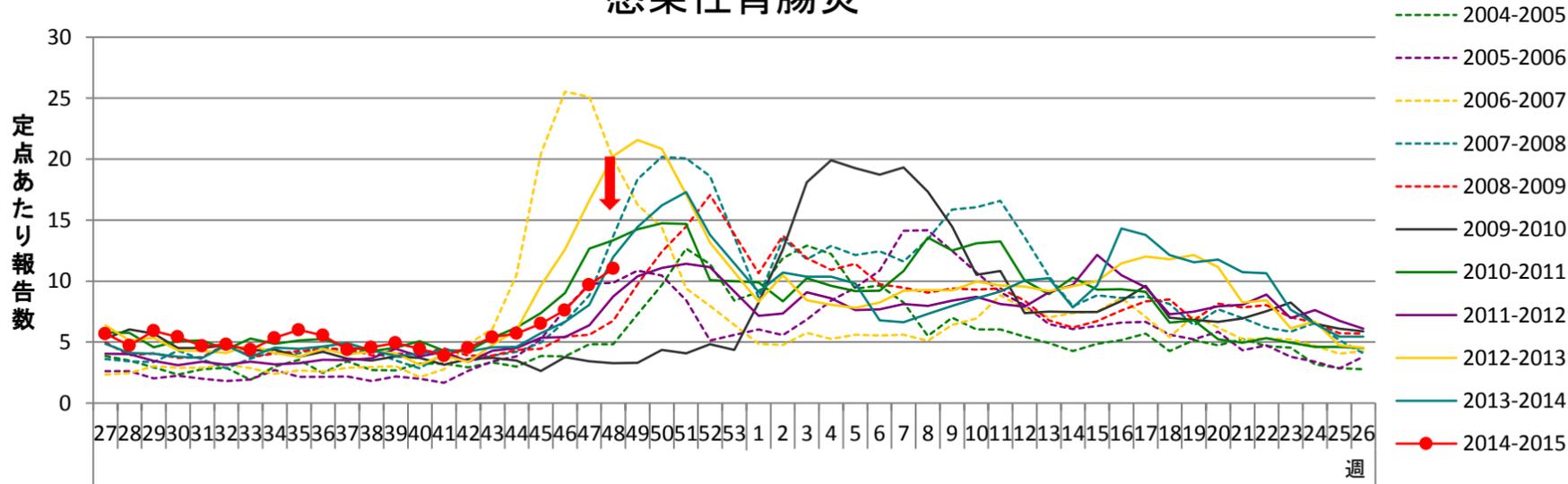
咽頭結膜熱



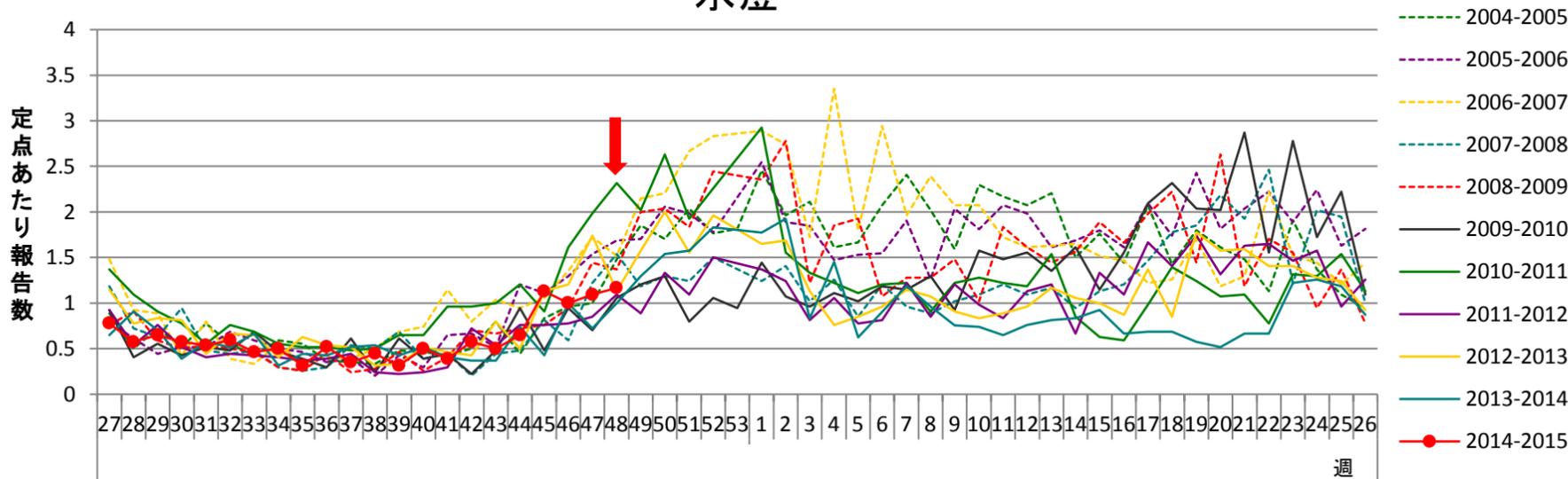
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



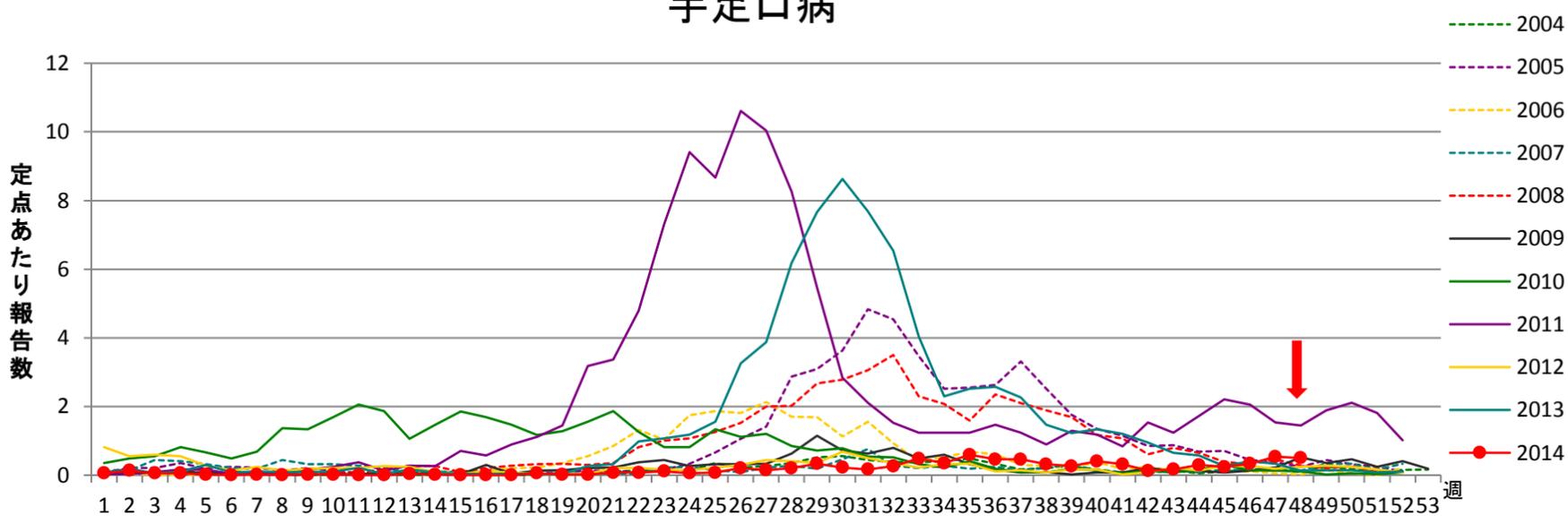
感染性胃腸炎



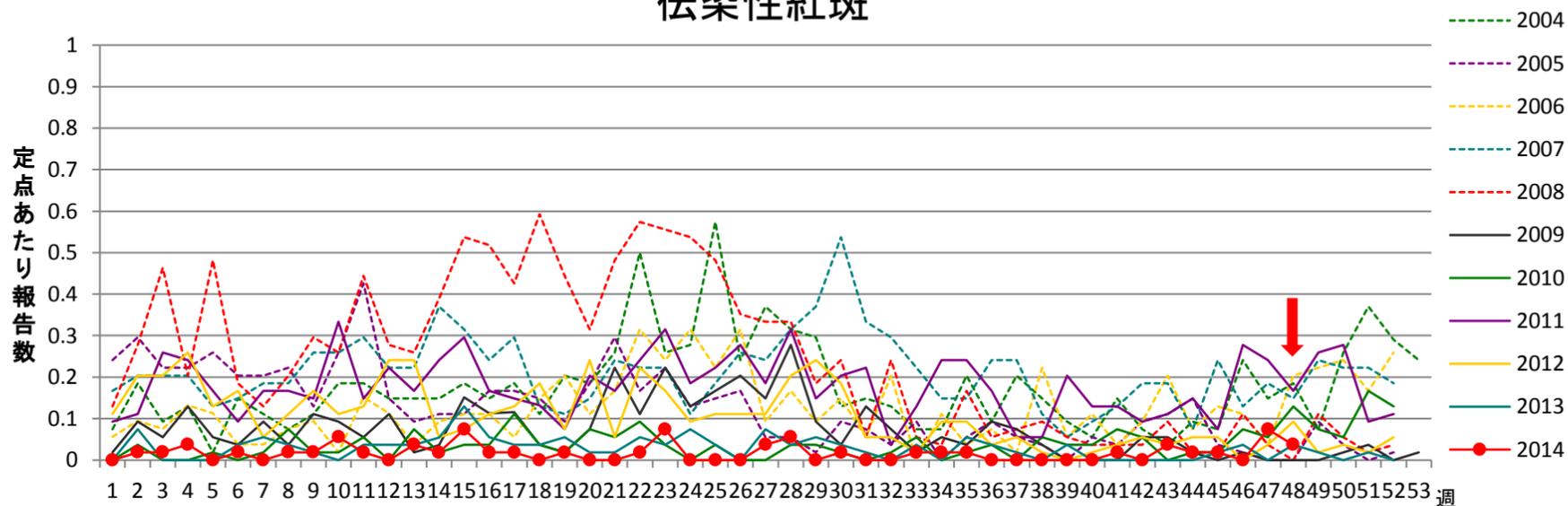
水痘



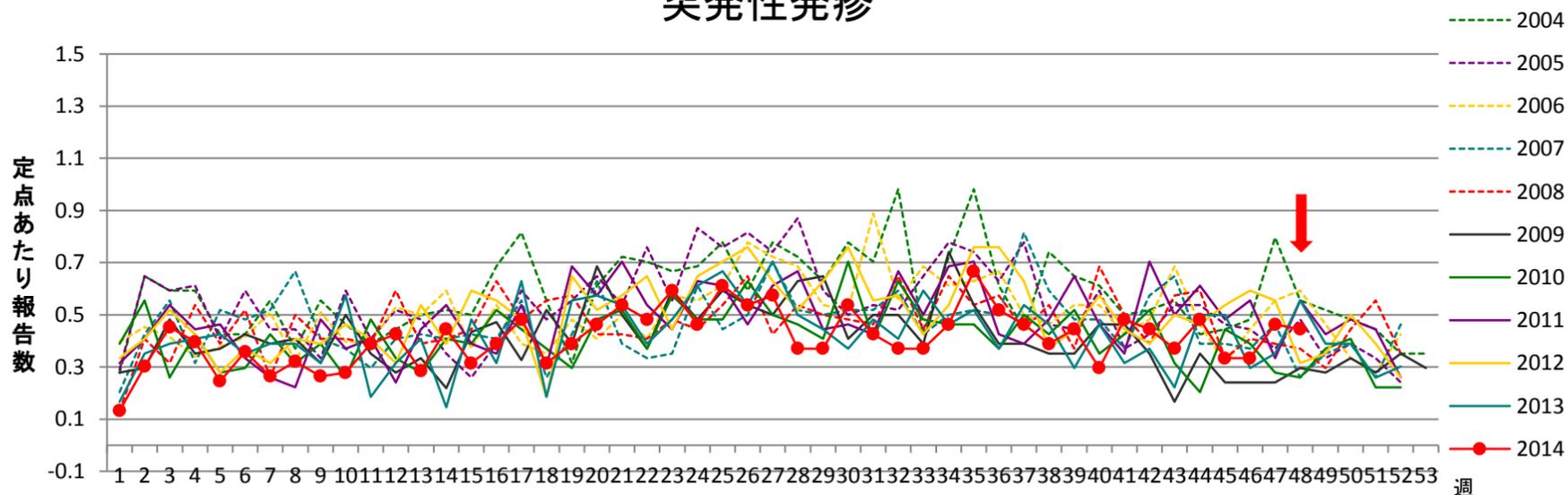
手足口病



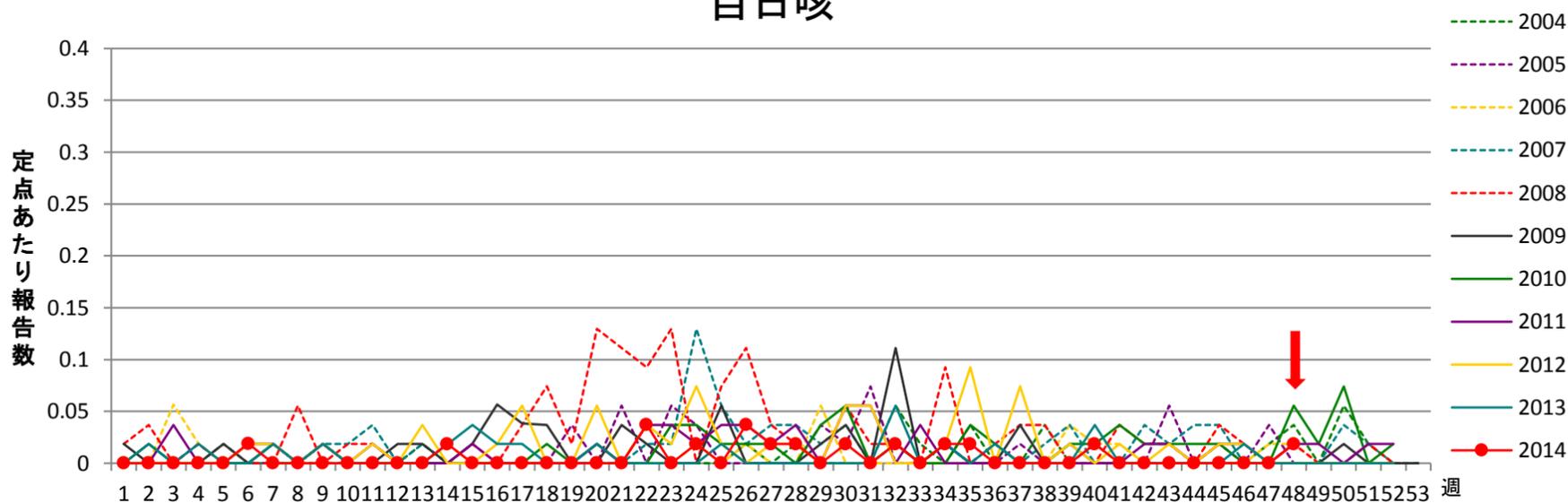
伝染性紅斑



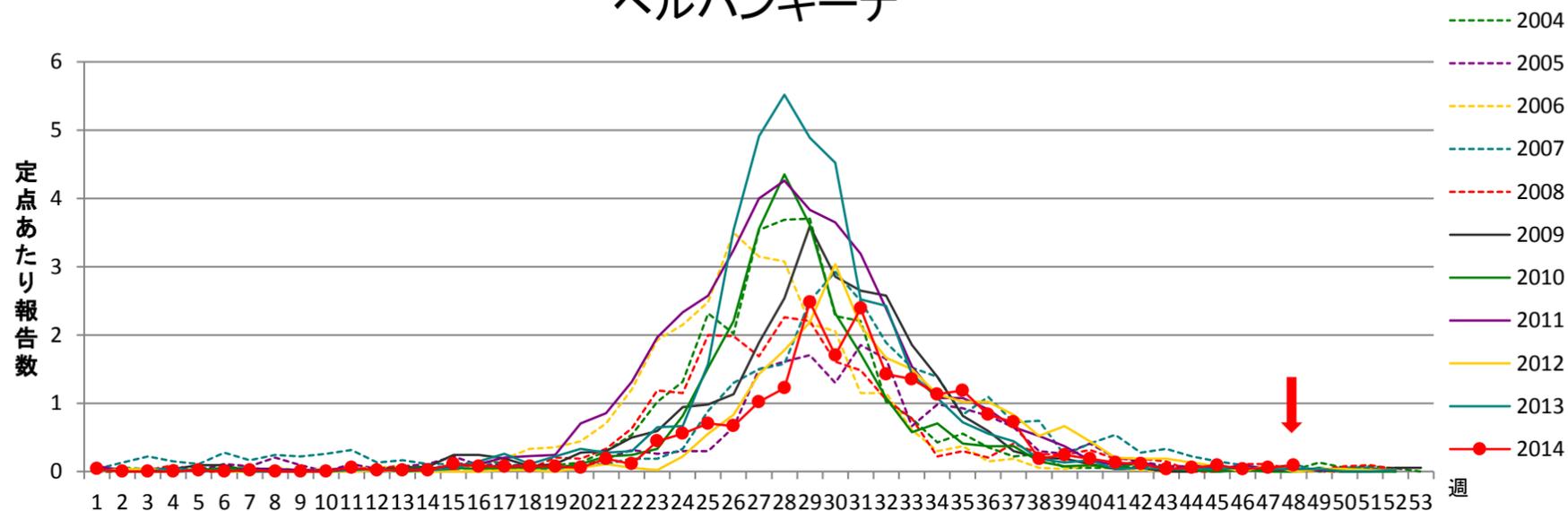
突発性発疹



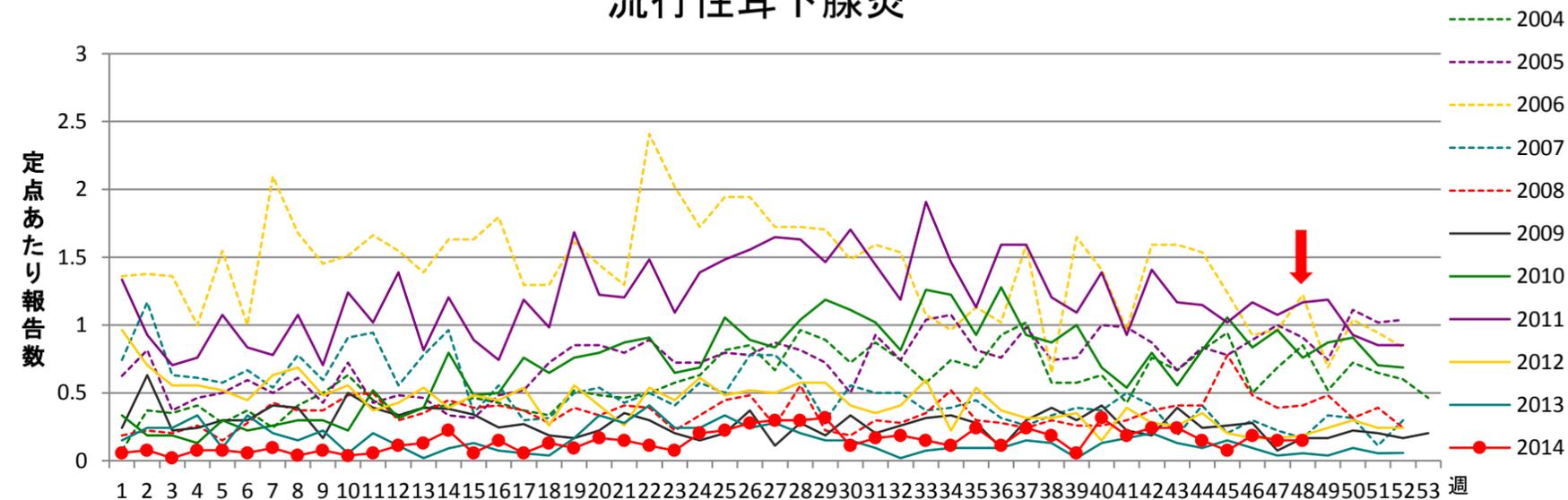
百日咳



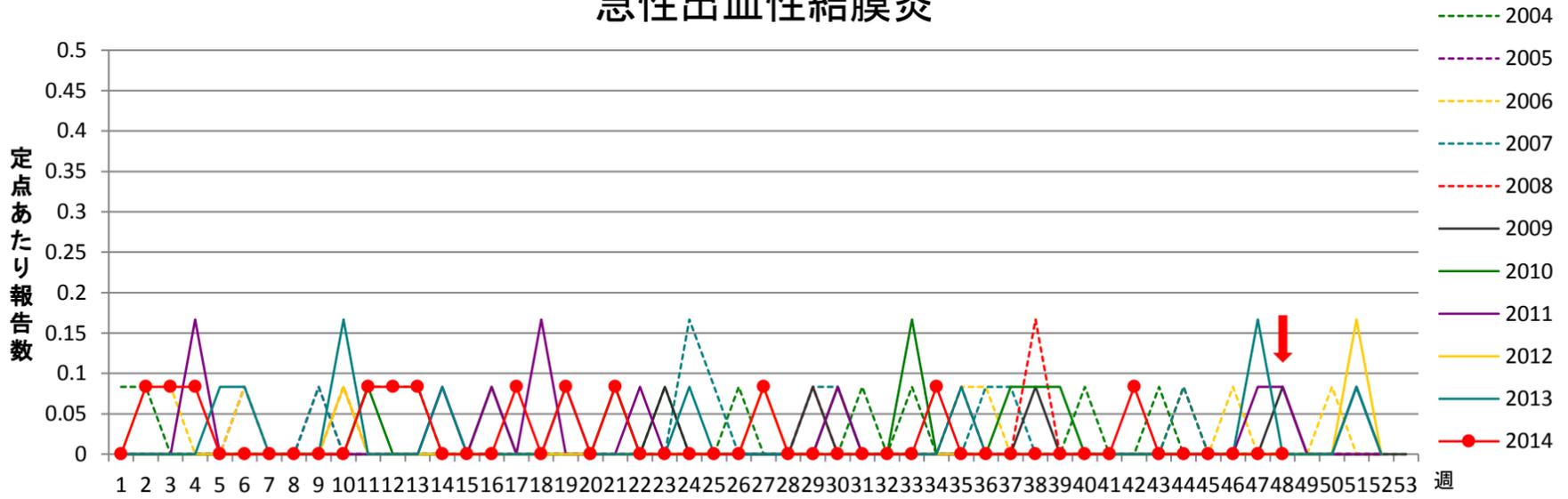
ヘルパンギーナ



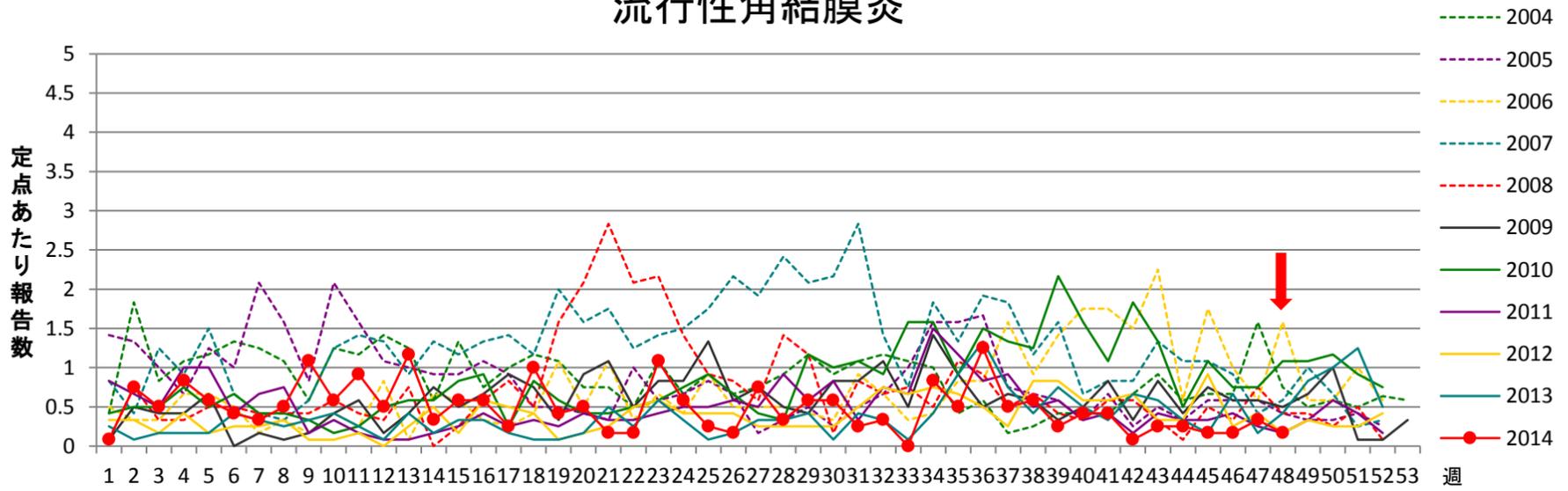
流行性耳下腺炎



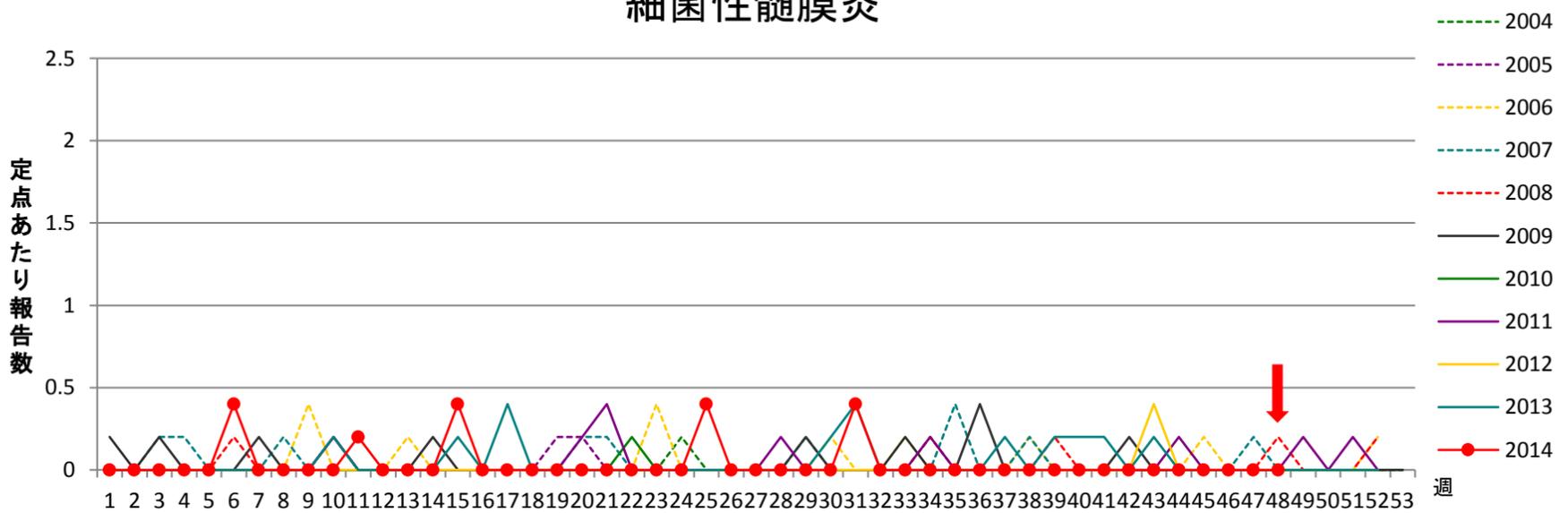
急性出血性結膜炎



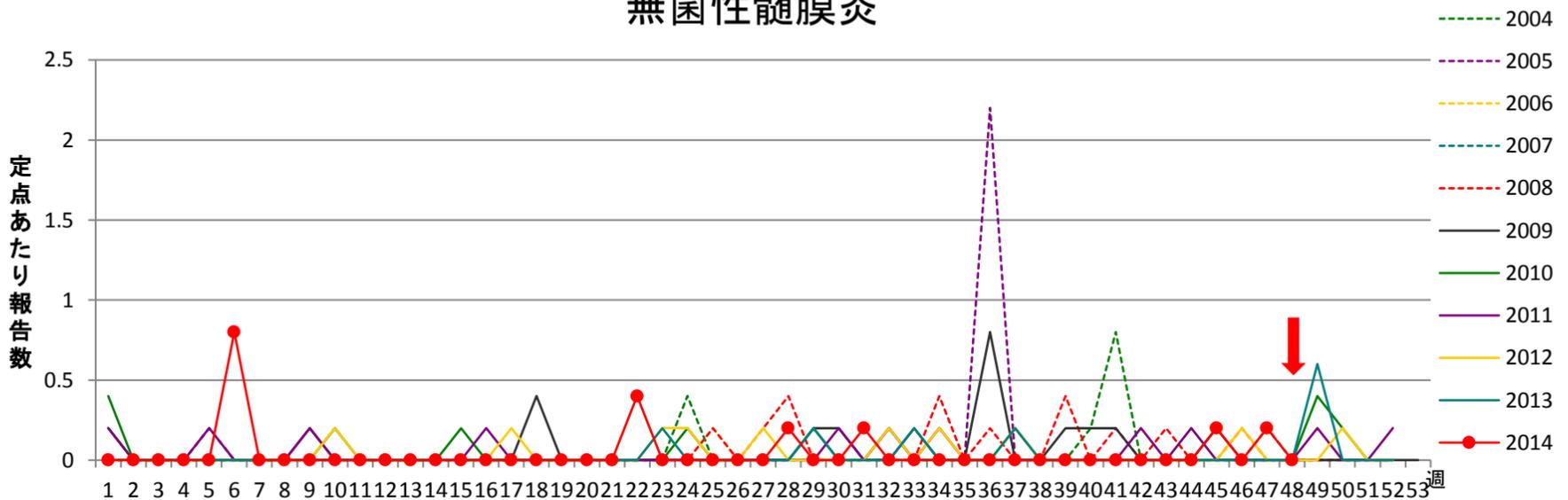
流行性角結膜炎



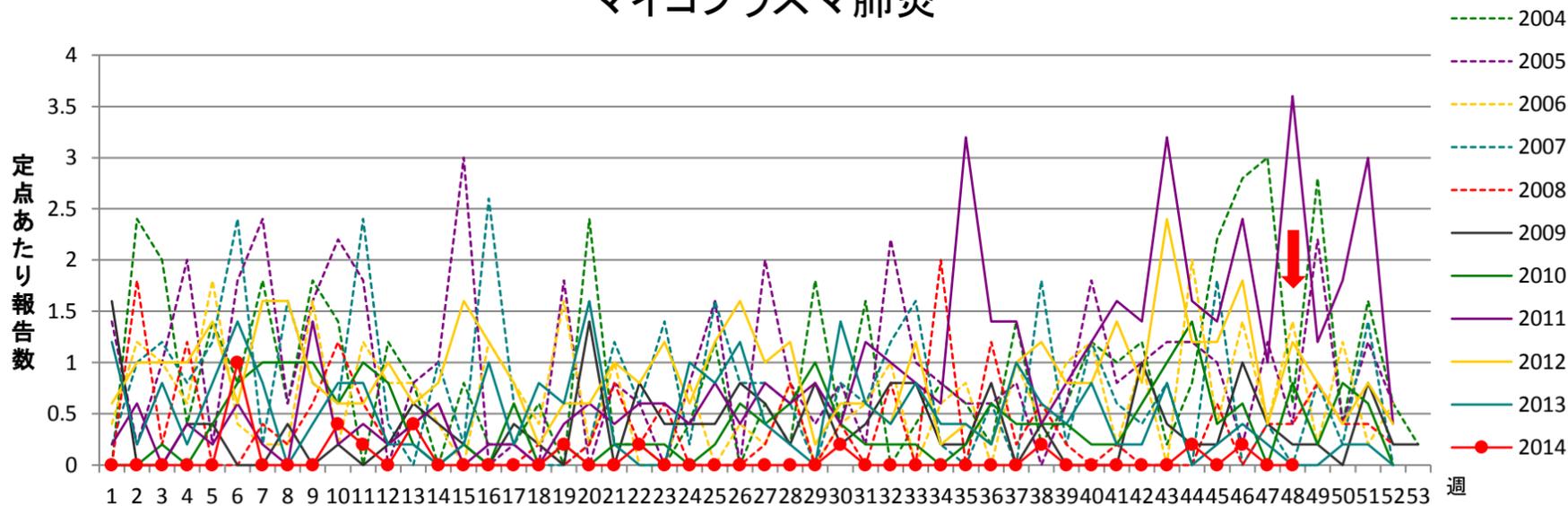
細菌性髄膜炎



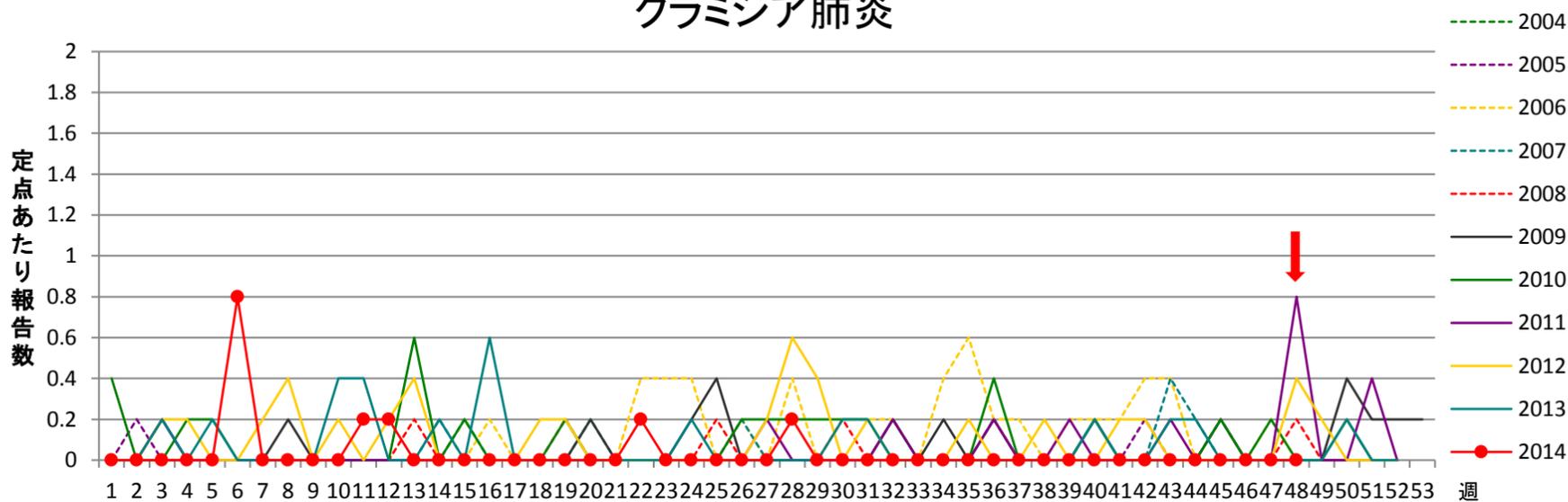
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

